



G7財務大臣・中央銀行総裁会議開催!
2023.5.11~13

新潟市議会議員 荒井宏幸通信

市政報告

2023年 春

第12号

電話・FAX
025-286-2535

目次

表 面

■活力あふれる持続可能なまちづくりへ

■令和4年12月定例会一般質問要旨(抜粋)

- 移住促進について
- 越後石山駅の周辺整備について

裏 面

■新潟市議会

令和5年2月定例会にて

- 令和4年度 補正予算可決
- 令和5年度 当初予算案提案

■視察報告

- 世界遺産石見銀山

まちづくりの基本となる「新潟市の最上位計画」である「新潟市総合計画2030」が来年度からスタートします。総合計画とは、将来のまちづくりの基本理念や目標すべき都市像と、それらを実現させるための施策などを示すものです。自治体のあらゆる事務事業はこの計画をもとに実行されています。

期間は2023年度から2030年度までの8年間です。今回の特徴は、総合計画とSDGs(持続可能な開発目標)を一体的に推進することです。令和4年12月定例会において全会一致で可決されました。

私も第2分科会の副委員長として審査してきました。この計画に基づき、活力あふれるまちづくり、持続可能なまちづくりを進めます。

また、令和5年2月定例会では、過去最大の新年度予算案(裏面)が提案され審査を行います。市民の生活に寄り添った事業が提案されているか、十分な予算配分がされているか慎重に見極めていきます。

この冬は本市も大寒波に見舞われ、除雪費も財政調整基金を取り崩しての対応となりました。しかし家庭での貯金にあるこの基金に蓄えはまだあります。引き続き各分野の政策、施策を推進し、持続的な発展に向けて好循環を創出しています。



G7カウントダウンボード(市役所前)

活力あふれる持続可能なまちづくりへ

移住促進について

■質問(荒井)

本市の喫緊の課題は人口減少問題であり、移住促進について伺う。

新潟県への移住問い合わせ件数が令和3年度は前年より3割ほど減少したとの報道があつたが、本市への問い合わせはどうか。

■答弁(中原市長)

令和2年度に158件だった相談件数が、令和3年度は296件と約2倍になっています。ほか、東京圏からの移住者を対象としている移住支援金等の支給件数については、令和2年度の13件から令和3年度は87件と大幅に増加している。

テレワークの普及などで地方への関心が高まる中、移住先としての魅力発信が課題となっています。来年度に向けた市独自の取組みを伺う。

■質問(荒井)

来春に向けて移住促進特別支援金の対象者を3大都市圏に拡充する他、本市での体験居住を1ヶ月以上から1週間以上に緩和するなど、より活用しやすい制度への変更を予定している。

■質問(荒井)

長引くコロナウイルス感染性による製品の供給停滞への警戒、ロシアによるウクライナ侵攻と有事を巡る台湾情勢といった地政学リスク、現地の人事費アップなどに加え、円安の進行などの理由から、国内回帰を考える日本企業の動きがある。本市に誘致できれば、雇用の受け皿が広がり、移住促進や人口流失の歴止めにも期待が持てるが、支援策はどういうに考えているか。

■答弁(中川経済部長)

本市では、用地取得や建屋、設備投資に係る費用など、工業振興条例助成金による支援が可能である。国のサプライイチエーン強化支援制度や、県の製造拠点を新設・増設する企業への設備投資支援制度などもある。

移住促進特別支援金
東京圏(埼玉・千葉・東京・神奈川)から新潟市へ
就業・起業・テレワーク・関係人口専門人材・フリーランスなどでの
移住で最大50万円交付

東京圏から三大都市圏に拡充されます

令和4年12月定例会 一般質問要旨(抜粋)

越後石山駅の周辺整備について

■質問(荒井)

駅を中心とした交通結節点の機能強化を図るには、「多様な交通サービスの組み合わせ」が必要と考える。今後、駅前広場のロータリーへの接続道路が整備され、将来的に新潟交通の路線バスや東区区バスのロータリーへの乗り入れができるれば周辺からの人の流れに期待が持てるが所見を伺う。

■答弁(石井東区長)

路線バス、区バス、タクシーなど二次交通との接続環境の強化は重要と認識している。バスの乗り入れは、周辺整備の進捗を踏まえ、運行事業者との協議を進めた。

■質問(荒井)

越後石山駅周辺では、治安への不安から交番設置の要望が上がっており、特に山二ツ交番が廃止された以降は、さらにニーズが高まり待ったなしの状況にある。東区役所からも県警本部や東警察署へ交渉を重なってもらっているが、引き続きどのような取り組みが有効か。

■答弁(石井東区長)

県警から越後石山駅周辺の交番設置は最重要課題であるとの認識で対応を検討していると聞いている。区として、県警と交番設置に向けた調整と、駅周辺の整備を図り、安心安全なまちづくりを進めていく。

■質問(荒井)

「東区まちづくり計画アクションプラン」には、越後石山駅周辺整備事業が入っているが、策定中の「地域別実行計画」とセットでまちづくりに取り組んではどうか。

■答弁(石井東区長)

越後石山駅の自由通路・駅前広場整備は、測量、設計、用地買収など整備に向けた取組みを着実に進めている。進捗状況も考慮した上で、地域住民の皆様の意見を聞きながら地域別実行計画の策定を進め、駅周辺のまちづくりも検討していく。



越後石山駅西口ロータリー

新潟市議会 令和5年2月定例会にて

令和4年度一般会計補正予算が可決されました

115億3千万円

注目される事業の一部

障がい福祉施設整備事業 2億5,705万円

生活介護事業所の建て替えおよび
グループホームの新設を支援。



こどもの安心・安全対策支援事業 2億7,061万円

こどもの安全対策を強化するため、児童福祉施設等において
ICTを活用した業務システムやこどもの見守り用機器を導入。



強い農業づくり交付金事業 14億200万円

産地収益力の強化及び強い経営体の育成を推進する
農業者等の取組みについて予算を増額。



除雪対策費 39億円

大幅な不足が見込まれる今年度の除排雪等の
経費について予算を増額。



民設放課後児童クラブICT化推進事業 850万円

元気な農業応援事業（新たな産地づくり支援） 4,342万円

道路橋りょう維持補修事業 10億1,200万円

障がい福祉サービス等事業 14億円7,925万円

こども医療費助成事業 2億5,780万円

私立保育園等運営費 15億7,627万円

特定医療費支給事業 8,897万円

感染症発生動向調査事業 2億1,100万円

令和5年度一般会計当初予算案が提案されました

3,977億円 (対前年度比+55億円 +1.4%)

ココに注目

新潟駅周辺地区の整備 55億2,497万円

連続立体交差事業や幹線道路及び駅前広場の整備を進めます。



テレワーカー移住・定住促進事業 1,280万円

テレワーカー移住・定住者を呼び込む仕組みをつくります。

副業関係人口創出事業 1,750万円



妊娠・出産サポート体制整備事業 1,968万円

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備を図ります。

妊娠婦医療費助成 8,776万円

所得制限を撤廃し、対象者を市内の全妊娠婦に拡充します。

ヤングケアラー支援体制整備事業 671万円



NIIGATA XRプロジェクト推進事業 6,000万円

次世代デジタルインフラの構築を推進します。

DXプラットフォーム推進事業 2,000万円

G7新潟財務大臣・中央銀行総裁会議開催推進事業 4,100万円

佐渡連携誘客事業 1,100万円

越後石山駅・巻駅周辺整備事業 1億9,000万円

駅前広場、自由通路の整備とバリアフリー化を推進します。

山の下みなとランド遊具更新 1億1,000万円

産業のまち東区「オープンファクトリー」 300万円

東区2km子育てトライアングル魅力発信 150万円

東区防災・安心安全フェスタ 130万円

視察報告

世界遺産石見銀山／広域観光交流促進調査特別委員会視察

観光客がドッと押し寄せ泊まる宿がない…？！

島根県大田市へ伺い、石見銀山の世界文化遺産登録を目指しての取組みから現在に至るまでの対応について、またその間に発生した問題の解決など貴重な経験を学んできました。

「石見銀山遺跡とその文化的景観」(これが登録名称です)は、2007年にアジア初の鉱山遺跡として世界遺産に登録されました。

登録に至った理由は以下の3点が挙げられます。

- ①世界的な経済、文化の交流に大きな影響を与えた。
- ②銀を生産していた時の坑道や工房の跡が遺跡としてよく残っている。
- ③銀を運んだ街道や積み出し港が残り、今でも人々が住み続けている。

石見銀山は、世界遺産登録直後に観光客がドッと押し寄せ、泊まる宿はない、住民は外出できないような状態となりました。役所の中は宿泊の問い合わせやパンフレットの送付依頼の対応などに追われ、てんてこ舞いであったそうです。そのような経験をされた上で、「新潟市は既に世界遺産登録を目指す佐渡市と『誘客交流連携協定』を結んでいて、広域連携による交流人口の拡大や宿泊の受け皿の役目を果たしているということは両市にとってとてもいいことです。」と感心されました。

佐渡市とは合同で秋の観光キャンペーンも行いました。引き続き連携を深め大きな成果を作っていくと確信しています。



発行者 新潟市議会議員 荒井宏幸

翔政会(総務会長)
文教経済常任委員会
広域観光交流促進調査特別委員会
議会運営委員会

連絡先

〒950-0852 新潟市東区石山3-6-12
TEL・FAX.025-286-2535
E-mail:araihiroyuki119@gmail.com

本誌は政務活動費で作成しています。
みなさんからのご意見、ご質問など
お寄せ下さい。